

3. 今帰仁村の産業および就業状況

1) 今帰仁村の産業及び就業状況

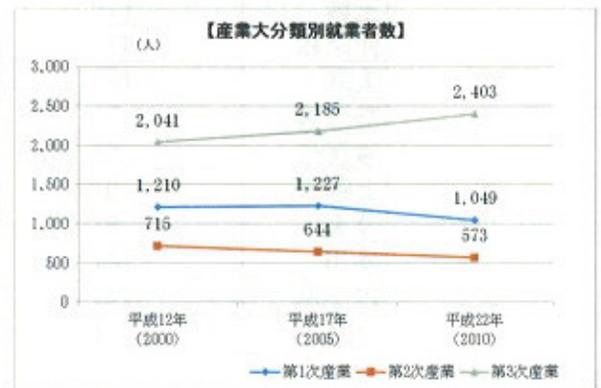
- 今帰仁村の事業所は平成 24 年に 378 事業所。
- 従業者数は 2,047 人。
- 平成 21 年までは事業所数及び従業者数ともに緩やかな増加傾向にあったが、平成 24 年では減少に転じた。



出典：事業所・企業統計、経済センサス活動調査

2) 産業別就業者数

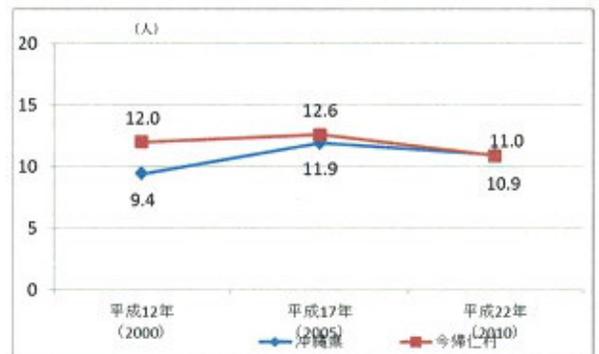
- 第 1 次産業、第 2 次産業は減少傾向にある。
- 第 3 次産業は「宿泊業・飲食サービス業」、「教育・学習支援業」、「医療・福祉業」が伸び、増加傾向にある。
- 平成 22 年度で調査した各産業の構成比は、第 1 次産業が 26.06%、第 2 次産業が 14.24%、第 3 次産業が 59.7%となっている。



出典：国勢調査

3) 今帰仁村の失業率

- 今帰仁村の失業率は平成 17 年まで県の数値より高い値であるものの、下降傾向にあり、平成 22 年には県の失業率を下回っている。
- 村内の就業者数の減少要因は他市町村での就職に移行していることが考えられる。



出典：国勢調査

4) 事業所の立地状況（商工会会員に限る）（追加）

- 県道 505 号沿いを中心に事業所が立地している。
- 村内の商工会会員の事業所数
合計 は 260 事業所である。

区	事業所数
今泊	29
兼次	4
諸志	10
与那嶺	10
仲尾次	8
崎山	5
平敷	11
謝名	20
越地	6
呉我山	5
玉城	11
仲宗根	63
天底	18
勢理客	7
渡喜仁	8
上運天	9
運天	8
湧川	14
古宇利	14
合計	260



4. その他、今帰仁村の状況

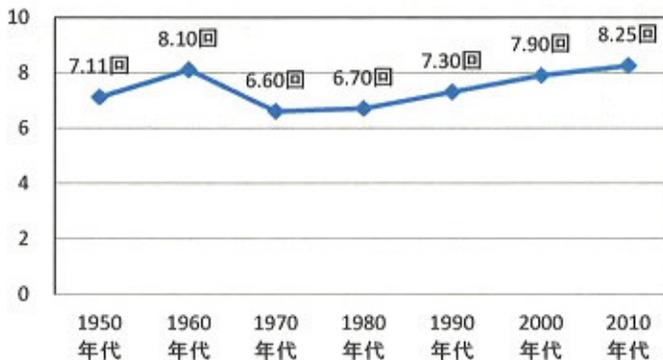
1) 今帰仁村の公共交通

- 今帰仁村の路線バスは、本部半島を左右回りで経由する2路線と、那覇空港～運天港を結ぶ急行バス1路線の計3路線が運行している。
- 村内の生活移動手段として利用するバスは、概ね一時間に一本運行する本部半島経由の2路線となっている。

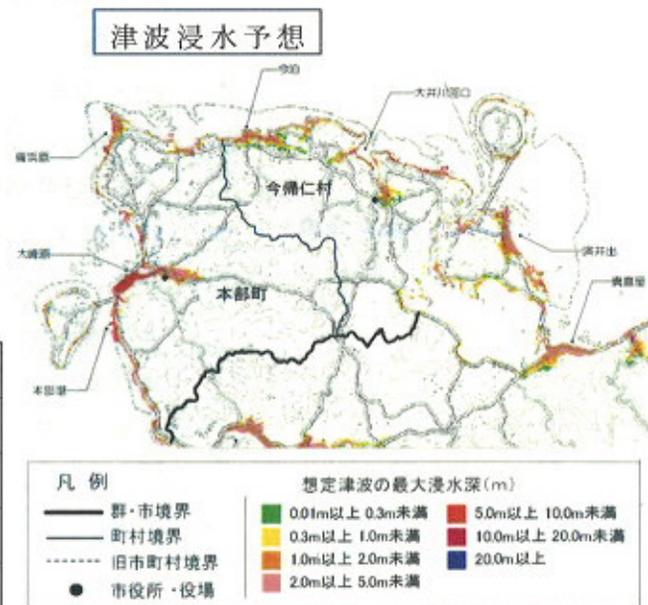


2) 今帰仁村の災害

- 沖縄県は、年平均8回の台風が接近し、県内の様々な箇所で土砂崩れなどの被害が出ている。
- 県の地震・津波想定では、北および東の海岸付近に集中することが想定される。
- 人口減少、高齢化により、いざというときの共助の手を確保できない懸念がある。



10年毎の台風接近数の平均回数



3) 今帰仁村の福祉施設設置箇所

○ 今帰仁村には老人介護施設が多く立地しており、村内はもとより村外からの入所者も見られる。



分類	No.	施設名	分類	No.	施設名
病院	①	北山病院	村立 保育所	⑪	仲尾次保育所
	②	今帰仁診療所		⑫	中央保育所
老人介護 施設	③	和光園		⑬	今帰仁保育所
	④	さくらの里		⑭	仲宗根保育所
	⑤	宅老所 ハイビスカス	村立 幼稚園	⑮	兼次幼稚園
	⑥	イリーゼ今帰仁		⑯	今帰仁幼稚園
	⑦	有料老人ホーム 湧川		⑰	天底幼稚園
	⑧	グリーンハウス	MESH ランデブ ーポイント	⑱	今帰仁村運動公園
	⑨	乙羽園指定介護老人福 祉施設		⑲	古宇利ふれあい広場
		⑩	グループホーム ほしく ぼ		

4) 村内の空き家の状況

- 現在、今帰仁村内で確認できる空き家は 135 件となっている。(区長ヒアリング)
- 空き家(賃貸)の有無について、県外からの問い合わせも多い。
- 仏壇があり、空き家でも賃貸として活用するのは難しいという意見が多い。
- 売り出し中の物件も数件ある。

	区	平成25年度調査時の空家数	現在の空家数
①	今泊	19	10
②	兼次	0	2
③	諸志	4	11
④	与那嶺	8	7
⑤	仲尾次	8	5
⑥	崎山	4	3
⑦	平敷	4	5
⑧	越地	4	3
⑨	謝名	8	12
⑩	仲宗根	0	1
⑪	玉城	11	9
⑫	呉我山	0	0
⑬	湧川	0	7
⑭	天底	0	0
⑮	勢理客	1	5
⑯	渡喜仁	7	11
⑰	上運天	3	4
⑱	運天	19	24
⑲	古宇利	10	16
		110	135

5. 今帰仁村の総合計画

今帰仁村では、今帰仁村第四次総合計画前期基本計画を実施中であり、むらづくりの課題を明確にし、村の将来像とむらづくりの基本姿勢を示している。この総合計画を基本とし、その他連携する計画に基づき戦略を策定するものとする。以下に今帰仁村の既存計画を示す。

①今帰仁村第四次総合計画

■まちの将来像

～ムラ・人・農が織りなすゆがふむら・今帰仁～

全ての人々が健康で安心して暮らせる生活環境の整備を推進し、子育てしやすい環境づくりや雇用の場の創出により、むらの活力を引き出す。伝統文化の継承や生涯学習の機会を創出することにより、人々の交流の活発化を目指す。また、基幹産業である農業の充実を図りつつ、商工業や観光業など他産業との連携を強化し経済的自立と産業の振興を図る。

■3つのむらづくりの基本姿勢

- (1)自然環境との共存
～やんばる型土地利用の原則を守る～
- (2)農業を中心とした産業振興
～積み上げ方式の産業振興～
- (3)むらづくりを支える地域コミュニティの強化
～誰もが安心・安全に暮らせる環境づくり～

連携

②第二次今帰仁村観光リゾート振興計画

■基本理念

自然と歴史とロマンに満ち躍動する村

■基本目標

- 1.歴史とロマン香る今帰仁
- 2.自然の摂理を学ぶ今帰仁
- 3.老いも若きも躍動する今帰仁

③今帰仁村子ども・子育て支援事業計画

■計画の目標像

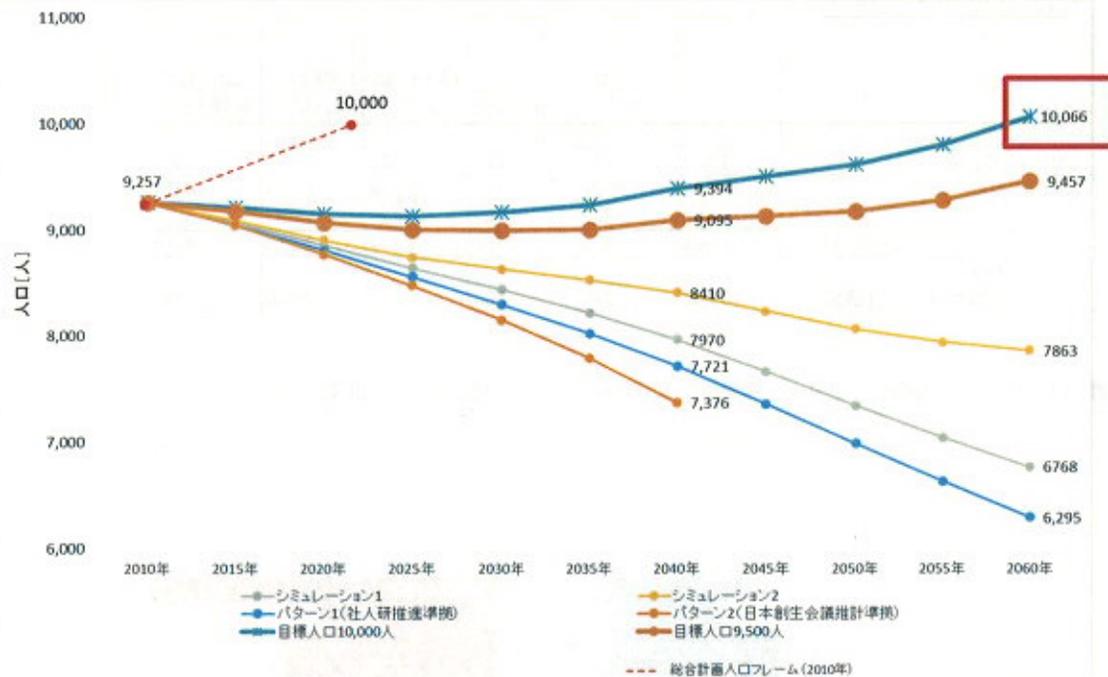
ゆたかな自然と地球に包まれて 子どもが健やかに育まれる今帰仁村
～未来に向かってみんなが繋がる安心な子育てを目指して～

■基本目標

- 1.地域における子育て支援の推進
- 2.母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進
- 3.子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備
- 4.子育てを支援する生活環境の整備及び子ども等の安全の確保
- 5.専門的な支援を要する子どもや家庭への支援
- 6.子育て支援推進プロジェクト

6. 人口ビジョン

人口ビジョンは、10,000 人規模で安定したむらの未来を目指します



パターン1：全国の移動率が今後一定程度縮小すると仮定した場合
 パターン2：全国の総移動数が、平成22年から平成27年の推計値と概ね同水準でそれ以降も推移すると仮定した場合
 シミュレーション1：合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準の2.1）まで上昇した場合
 シミュレーション2：合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準の2.1）まで上昇し、かつ人口移動が均衡した（移動がゼロとなった）場合
 パターン3：パターン1に加え、合計特殊出生率が最終的には沖縄県の目指す2.5を達成し、かつ、5年間で75人ずつ転入者がいると仮定した場合

※目標人口10,000人の条件：

1) 特殊出生率の増加

- ・2025年まで現状の1.97、2035年まで人口置換水準の2.1、以降沖縄県の目標値2.5の達成を目指す。

2) 人口の社会増

- ・0～4歳→5～9歳 子育て支援の充実：5年間で10名の純増
- ・5～9歳→10～14歳 生徒への人材育成・魅力づくり：5年間で10名の純増
- ・10～14歳→15～19歳 高校への通学の支援：5年間で10名の純増
- ・15～19歳→20～24歳 高校大学卒業後の就職（働く場の創生）：5年間で30名の純増
- ・20～24歳→25～29歳 再就職（働く場の創生）：5年間で20名の純増
- ・25～29歳→30～34歳 起業（起業支援）：5年間で10名の純増
- ・55～59歳→60～64歳 定年後の移住促進：5年間で10名の純増
- ・64～69歳→70～74歳 高齢者福祉の充実：5年間で10名の純増

上記のような戦略を立てた上で、5年間で110人純増すると想定している。

■人口推計における人口構造

総合戦略では、若い世代への支援を充実させることにより、年少人口増加と生産年齢人口の定住を促進します。

・2060年時の人口構造

		総人口	0～14歳人口		15～64歳人口	65歳以上人口	20～39歳女性人口
				うち0～4歳人口			
2010年	現状値	9,257	1,375	425	5,425	2,457	843
2060年	パターン1	6,295	728	218	2,974	2,593	475
	シミュレーション1	6,768	938	289	3,237	2,593	553
	シミュレーション2	7,863	1,273	422	4,372	2,218	875
	パターン2	-	-	-	-	-	-
	人口ビジョン(目標値)	10,066	1,985	680	5,681	2,400	1,194

■目標人口 10,000 人とした年齢 5 歳階級別人口の見通し (2060 年)

